

今月は、「ワーク・ライフ・バランスの日（11/23）に寄せて」をテーマとし、以前よりこれに関する先進的な取組を進められる日本生産性本部・長谷川真理氏によるコラムや、その他ワーク・ライフ・バランスに関する施策紹介や最新の動き、調査結果等についてお送りします。

.....

（目次）

《コラム》

「ワーク・ライフ・バランスの日（11/23）に寄せて」

公益財団法人日本生産性本部 ワークライフ部ダイバーシティ推進室長 長谷川真理氏
《制度施策紹介 ～人事担当の皆様へ～》

●労働時間等見直しガイドライン（労働時間等設定改善指針）【厚生労働省】

《企業事例紹介》

●休暇を積極的に楽しもう！「ポジティブ・オフ」運動 取組事例を掲載中！【観光庁】

《最新情報》

●お知らせ

・労働政策審議会雇用均等分科会報告「今後の男女雇用機会均等対策について」【厚生労働省】（2013年9月） 他

●地方公共団体等の動き

・「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」の賛同事業所等の募集【愛知県】（2013年8月） 他

●イベント（開催日順に掲載）

・ワークライフバランス力（りょく）向上セミナー【主催：三重県四日市市】 他

《統計・調査トピックス》

●「子ども・子育てビジョンに係る点検・評価のための指標調査」報告書【内閣府】（2013年9月） 他

.....

《コラム》

「ワーク・ライフ・バランスの日（11/23）に寄せて」

公益財団法人日本生産性本部 ワークライフ部ダイバーシティ推進室長 長谷川真理氏

ワーク・ライフ・バランス推進会議（事務局は日本生産性本部）では、「ワーク・ライフ・バランス大賞」を2007年に創設し、今年で7回目である。この間、ワーク・ライフ・バラ

ンスは育児・子育て支援に重点を置いた活動から、より多様な活動へと広がりを見せ、切実な課題となってきた「仕事と介護の両立」やメンタルヘルス問題への取り組みも多く見られるようになった。正社員だけでなくすべての多様な人材が活躍できる取り組みへ深化してきた。これからは、働く人の意識や考え方の多様化へどのように対応するかという視点がより重要になる。それは組織が新しい変革を求めていくためにも不可欠な課題である。

また、同推進会議では、今年「成長戦略の基盤はワーク・ライフ・バランス」を発表した。成長に向けた施策の実行には、生産性向上の観点に立って、人々の高い意欲と向上が求められるが、その際、ワーク・ライフ・バランスの実現が不可欠である。また、推進にあたっては、依然としてコスト面が強調され、中長期での成果を踏まえた議論が不足している。ワーク・ライフ・バランスが経営効率の追求と両立するという経営理念の徹底や、能力開発のためにこそワーク・ライフ・バランスが重要という発想から、生産性向上・能力開発との好循環を作り出すべきである。ワーク・ライフ・バランスの推進は、自分自身の働きがい、生きがいを高める努力を自ら行い、組織の革新を担っていく人材をつくり出すためのものと考えたい。

11月23日を「ワーク・ライフ・バランスの日」と提唱している。年に一度は自らの働き方・暮らし方を見つめ直す機会を持ちたいものである。そして、次の1年の計画・目標作りに是非生かしてほしい。連続した休暇取得の重要性も、真剣に考えるべきであろう。仕事も生活も、優先度の高いことにはいかに取り組めたかどうか。効果的に働き、自分に課せられた役割・期待に対して、結果・責任をどう果たすことができたか。優先度の高さと実現度合いは、より充実した人生・時間を過ごすためのキーポイントである。

.....

《制度施策紹介～人事担当の皆様へ～》

●労働時間等見直しガイドライン（労働時間等設定改善指針）【厚生労働省】

労働時間等見直しガイドライン（労働時間等設定改善指針）は、事業主のみなさまに労働時間等の見直しに向けて取り組んでいただくにあたり、参考としていただきたい事項を記載したものです。指針に書いていない労働者の抱える事情への配慮や取組の具体的内容についても、労使でよく話し合ってお検討下さい。

<「労働時間等見直しガイドライン」>

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/general/seido/roudou/jikan/dl/honbun.pdf>

<「労働時間等見直しガイドライン」活用の手引>

⇒ http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/kinrou/dl/101216_01a.pdf

.....

《企業事例紹介》

● 休暇を積極的に楽しもう！「ポジティブ・オフ」運動 取組事例を掲載中！【観光庁】

・ 王子ホールディングス株式会社

王子ホールディングス株式会社は、木材を原料に使う企業の責任として持続的な森林づくりに取組んでいる。社業として積極的に海外植林を進め、原料資源を育てている。その一環として、社員自身が植林に参加できる機会を設けており、労使で協議の上、消化できなかった年次有給休暇の残日数を積立て、中国での植林活動などのボランティア活動に使えるようにした（保存休暇制度）。旅費の約半額も労働組合から補助する。中国での植林の取組は、もともとは組合の米子支部が、日本砂漠緑化実践協会の植林ボランティア『緑の協力隊』に参加していたのがきっかけで始まった。1995年から全国に拡大し、毎年5月の中旬に一週間の日程で、約20～30名を派遣し、植林活動を行っている。

参加した社員からは、「ひたすら1メートルの穴を掘り、心を込めてポプラの苗を1本植える。この作業を夢中で続け、たったの24人で506本を植えた時の達成感と一体感の感動は忘れられません。」「植林した木を管理される現地スタッフの皆様のためにも、更に活動の輪を広げ、また植林に訪れることが重要だと感じます。」といった声が聞かれる。植林を必要とする現地の実状を知る事はもちろん、全国から知らない社員同士が集まることで組織の一体感醸成にも役立っており、今後も広く参加を呼びかけ、休暇を活用したボランティアの輪を広げていく。

「ポジティブ・オフ」運動 取組企業・団体の事例掲載中！

⇒ http://www.mlit.go.jp/kankocho/positive-off/torikumi/page02_000025.html

.....

《最新情報》（原則として、発行月の前月以降に更新された内容を掲載しています。）

● お知らせ

・ 「平成25年版労働経済の分析」を公表【厚生労働省】（2013年8月）

厚生労働省は、8月30日の閣議で「平成25年版労働経済の分析」を報告しました。要約版には「勤労者世帯の世帯主配偶者の収入は過去最高となったが、この背景には世帯主所得の低下による配偶者の労働参加があり、求職者が就業希望を実現しやすいような環境整備をこれからも進める必要がある」等と記載されており、多様な働き方の実現等の重要性についてもふれられています。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000015637.html>

・ 若者の「使い捨て」が疑われる企業等に関する無料電話相談の実施結果（速報）を公表【厚生労働省】（2013年9月）

平成 25 年 9 月 1 日に実施した若者の「使い捨て」が疑われる企業・事業所等に関する「無料電話相談」について、全国で 1,042 件の相談が寄せられました。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000019371.html>

・地域のイベントと連動した年次有給休暇取得促進事業を実施【厚生労働省】(2013 年 9 月)

厚生労働省では、平成 25 年度から、地方自治体等と連携を図りながら、地域における休暇取得促進の働きかけを行う「地域の特性を活かした休暇取得促進のための環境整備事業」を実施しています。この事業は、国をあげてワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を行うことを掲げた「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」などを踏まえて行うものです。今年度は静岡県島田市・川根本町と熊本県人吉市の 2 カ所で事業を実施しています。事業実施地域においては、お祭りなどの地域のイベントや小中学校などの学校休業日（重点実施日といいます。）に合わせて、休暇の取得を促進するための働きかけとして、(1) ポスター、リーフレットや地元ラジオ番組の放送などによる周知・啓発、(2) 労務管理の専門家による地域の事業場を訪問等の取組を行いました。今後、重点実施日の休暇取得の効果を検証し、事例の収集を行う予定です。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000022807.html>

・第 2 回「カエルの星」（チームにおける業務効率化の取組事例）の募集【内閣府】(2013 年 9 月)

内閣府では、チーム単位での働き方を変えて成果をあげた取組を広く公募し、好事例を「カエルの星」と認定し、大臣名による認定書を交付することといたしました。認定されたチームの取組については広く周知し、企業等の具体的な取組推進を支援していきます。このたび、第 2 回「カエルの星」を募集致しますので、ぜひご応募下さい。（申込期限：平成 25 年 11 月 15 日）

⇒ http://wwwa.cao.go.jp/wlb/change_jpn/kaeru_hosi.html

・「女性の活躍支援・推進に関する企業の取り組み事例集」を公表【(一社) 日本経済団体連合会】(2013 年 9 月)

経団連では、女性の活躍支援・推進に関する企業の自主的・積極的な取り組みを促進するため、50 社の企業の計画や取組内容、成果・評価、課題・展望等の状況を確認し、事例集としてとりまとめました。

⇒ <http://www.keidanren.or.jp/policy/2013/082.pdf>

・労働政策審議会雇用均等分科会報告「今後の男女雇用機会均等対策について」【厚生労働省】(2013 年 9 月)

厚生労働大臣の諮問機関である労働政策審議会雇用均等分科会（分科会長田島優子弁護士）は、今後の男女雇用機会均等対策について、検討結果を取りまとめました。報告の冒頭に、「雇用の分野における男女格差の縮小を図り、女性の活躍促進を一層推進するため、職業生活と家庭生活との両立支援対策等の施策を推進するとともに、男女雇用機会均等対策として以下の事項に速やかに取り組むことが適当であると考え。」と明記されています。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000024364.html>

・平成 25 年度「均等・両立推進企業表彰」受賞企業決定【厚生労働省】（2013 年 9 月）

厚生労働省では、このほど平成 25 年度「均等・両立推進企業表彰」の厚生労働大臣優良賞の受賞企業として、均等推進企業部門に株式会社横浜銀行を、ファミリー・フレンドリー企業部門に明治安田生命保険相互会社を選定しました。厚生労働大臣優良賞となった 2 社は、女性のキャリア開発と就業継続への積極的な取り組みや男性の育児休業取得促進など、それぞれの部門において特に優れた取り組みを行っていることが選定の理由です。このほか、都道府県労働局長賞（優良賞・奨励賞）の均等推進企業部門に 22 社、ファミリー・フレンドリー企業部門に 25 社を選出しました。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000023914.html>

・仕事と家庭の両立支援関係制度の利用状況調査（平成 24 年度）の結果【人事院】（2013 年 9 月）

人事院は、仕事と家庭の両立支援のための制度等の検討に資するため、上記調査を実施しました。

- ・育児休業の取得率は、男性 3.7%、女性 96.5%で、男性の取得率は前年度と変わらず、依然として低い水準
- ・平成 24 年度に介護休暇を使用した常勤職員は、141 人（男性 55 人、女性 86 人）で、前回より減少

等の結果が得られています。

⇒ <http://www.jinji.go.jp/kisya/1309/ikukyu25.pdf>

・初代「イクメン企業アワード」受賞企業決定【厚生労働省】（2013 年 10 月）

厚生労働省では、このほど、初の「イクメン企業アワード 2013」の受賞企業を決定しました。初代グランプリには花王株式会社と医療法人社団三成会の 2 社、特別奨励賞に 5 社を選定しました。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000024791.html>

・平成 25 年放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況（5 月 1 日現在）【厚生労働省】（2013 年 10 月）

厚生労働省ではこのほど、放課後児童健全育成事業の平成 25 年の状況を取りまとめました。「放課後児童クラブ数、前年比 397 か所増加」「18 時を超えて開所しているクラブが全体の 6 割を超える」等の結果となっています。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000025032.html>

・「キャリア支援企業表彰 2013」実施【厚生労働省】(2013 年 10 月)

厚生労働省はこのほど、従業員の主体的なキャリア形成を積極的に支援している 10 社を、「キャリア支援企業表彰 2013～人を育て・人が育つ企業表彰～」の厚生労働大臣表彰に決定しました。また、11 月 26 日午後、表彰式とシンポジウムを同時開催（於：新宿明治安田生命ホール）します。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000026011.html>

●地方公共団体の動き

・「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」の賛同事業所等の募集【愛知県】(2013 年 8 月)

「あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会」では、県内の事業所等において、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を実施していただくように呼びかける「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」を実施します。昨年度実施した「愛知県内一斉ノー残業デー運動」、「有給休暇取得プラス 1 運動」の内容は継続し、今年度は「育児・介護支援」、「メンタルヘルス対策」の取組を加えた運動として実施します。この運動に賛同いただける事業所等の募集を開始します。

⇒ <http://www.pref.aichi.jp/0000063886.html>

・「男女がいきいきと働いている企業」認証制度【三重県】(2013 年 10 月)

三重県では、職場における男女共同参画の推進と、「働きがい」のある職場環境づくりを目的に、男女の雇用均等や女性の活躍支援（ポジティブ・アクション）、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）、次世代育成支援などに取り組む企業等を募集し、調査・確認を行い、県の定める基準に達した企業等を「男女がいきいきと働いている企業」として認証しています。このたび、平成 25 年度「男女がいきいきと働いている企業」が決定しました。

⇒ <http://www.oshigoto.pref.mie.lg.jp/work/lively/2012ninsyou.htm>

・女性の活躍推進アドバイザー（ロールモデル）派遣事業【福岡県】(2013 年 10 月)

福岡県では、企業や団体で働く女性社員の方に、より一層活躍していただくために、企業等が実施する社内研修会、意見交換会、勉強会等へ、女性ロールモデルの方をアドバイザーとして派遣する事業を開始しました。

⇒ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/a05/adviser-rolemodel-haken.html>

・平成 25 年度第 2 回労働教育講座・労働経営セミナーを開催【福岡県】(2013 年 10 月)

福岡県では、主に勤労者の方を対象とした労働教育講座と、主に経営者や人事・労務担当者の方を対象とした労働経営セミナーを開催しています。今回、労働教育講座では「ワークライフバランスや職場でのコミュニケーションスキル」、労働経営セミナーでは「部下とのコミュニケーションや就業規則等、社内規則の整備」について開催します。

⇒ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/d09/roudoukouza25-2.html>

・第 1 回「仕事と子育て両立応援セミナー」【熊本県】(2013 年 10 月)

仕事と子育ての両立に向けて再就職を希望するお母さんを応援するセミナー(日時:平成 25 年 11 月 26 日(火) 9:30~15:30、場所:くまもと県民交流館パレア、定員:30 名)を開催します。

⇒ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/sigotosien/sigotosien-ryouritu.html>

・企業向け人権啓発講座「介護と仕事との両立のために企業ができること」講演録を作成【京都市】(2013 年 10 月)

京都市では、人権尊重の風土づくり及び人権尊重を基盤とする企業活動の推進へ向けた企業の取組を支援する企業対象の連続講座を開催しています。この度、「ワーク・ライフ・バランス」をテーマとして平成 25 年 6 月 5 日に開催した企業向け人権啓発講座の講演録を作成いたしましたので御覧ください。

⇒ <http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000156999.html>

●イベント(開催日順に掲載)

・ワークライフバランス力(りょく)向上セミナー【主催:三重県四日市市】

日時 平成 25 年 11 月 6 日(水) 13:30~15:00

場所 四日市市総合会館 8 階 視聴覚室

講演 「経営者も従業員も満足する企業経営」

旭電気(株)代表取締役社長 前田光久氏

(一財)食品分析開発センターSUNATEC 理事・センター長 小林政人氏

厚生労働省政策評価に関する有識者会議委員(東レ経営研究所研究部長)

渥美由喜氏

定員 200 名

参加費 無料

⇒ <http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/item52983.html>

・男女共同参画フォーラム in さいたま【主催：内閣府、埼玉県さいたま市】

日時 11月9日（土）12:30～16:00

会場 ホテル ブリランテ武蔵野

内容 基調講演「女と男ワンランクステップアップの働き方・暮らし方」

講師（株）イー・ウーマン代表取締役社長 佐々木かをり氏

パネルディスカッション「女性が輝くために何が必要か」

パネリスト

埼玉大学教育学部教授 田代美江子氏

慶応義塾大学環境情報学部客員教授 夏野 剛氏

さいたま市男女共同参画推進協議会会長 矢澤澄子氏

コーディネーター

ジェンダー・開発政策専門家 大崎麻子氏

参加費 無料（事前申込み必要）

お問合せ さいたま市男女共同参画推進センター（TEL048-642-8107）

⇒ <http://www.city.saitama.jp/www/contents/1379554273569/index.html>

・阿見町男女共同参画宣言都市記念式典【主催：内閣府、茨城県阿見町】

日時 11月10日（日）13:00～16:20

会場 県立医療大学大講義室（※無料駐車場有）

内容 ・宣言文の群読

・内閣府からの情勢報告

・作文等入賞者表彰、推進歌の合唱

・記念講演「男女共同参画社会現実の先に～私たちの暮らしはどう変わるのか～」

TBS テレビ報道局室長 杉尾秀哉氏

参加費 無料

お問合せ 阿見町民生部町民活動推進課男女共同参画推進室（TEL 029-888-1111（内 271））

⇒

<http://www.town.ami.ibaraki.jp/kakuka/chomin-bu/chominkatsudosuishinka/danjo-sa nkaku/pdf/ceremony.pdf>

・子ども・子育て支援新制度フォーラム in 福岡【主催：内閣府、文部科学省、厚生労働省】

日時 平成 25 年 11 月 17 日（日）13:30～16:20

場所 アクロス福岡イベントホール

内容 基調講演「親の力で子育て環境を変えよう」

読売新聞東京本社社会保障部次長 榊原智子氏

パネルディスカッション

定員 700名

参加費 無料

⇒ <http://www.hip-ltd.co.jp/kosodateforum/fukuoka>

・「家族の日」フォーラム【主催：内閣府、東京都、文京区】

日時 平成25年11月17日（日）13:00～15:30

場所 文京シビックホール 小ホール

パネルディスカッション「働きかたを見直そう！みんなで意識を変えてみよう！」

～次世代イクメンに期待したいこと～

コーディネーター

NPO法人ファザーリング・ジャパン副代表理事 安藤哲也氏

パネリスト（五十音順）

ゼクシィ編集長 伊藤綾氏、タレント 中山秀征氏、文京区長 成澤廣修氏

定員 300名（先着順）

参加費 無料

⇒ <http://www8.cao.go.jp/shoushi/kazoku/forum/bunkyo.html>

・苫小牧市男女平等参画宣言都市記念式典【主催：内閣府、北海道苫小牧市】

日時 11月17日（日）13:00～16:00

会場 苫小牧市民会館（※無料駐車場有）

内容 ・記念式典

・内閣府からの情勢報告

・男女平等参画啓発標語入賞者表彰、男女平等参画都市宣言文群読

・記念講演「男女平等参画社会とは～自分らしい生き方を大切に～」

神奈川大学特別招聘教授、元宮城県知事 浅野史郎氏

参加費 無料

お問合せ 苫小牧市市民生活部男女平等参画課（TEL 0144-32-3544）

⇒ <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/danjobyodo/shikiten.htm>

・ワーク・ライフ・バランス・コンファレンス2013【主催：次世代のための民間運動～ワーク・ライフ・バランス推進会議～、（公財）日本生産性本部】

今年で7回目となる「ワーク・ライフ・バランス・コンファレンス」を、11月19日に開催します。昨年の大賞受賞企業からの講演や、今年を受賞企業による事例紹介など、ワーク・ライフ・バランス推進の先進的事例を学ぶことができます。終了後には、交流会も行いますので、ぜひご参加ください。

日時 平成25年11月19日（火）13:30～17:00

会場 如水会館

プログラム

講演「企業経営とワーク・ライフ・バランス」

アイエスエフネット 代表取締役 渡邊幸義氏

(第6回ワーク・ライフ・バランス大賞・大賞受賞)

「第7回ワーク・ライフ・バランス大賞」表彰式

事例紹介「第7回ワーク・ライフ・バランス大賞受賞者の成功事例に学ぶ」

定員 200名

参加費 無料

⇒ <http://www.jisedai.net/wlbconference/wlbc2013.php>

・ワーク・ライフ・バランス経営者セミナー【主催：京都府、京都市】

日時 平成25年11月22日(金) 13:30～16:30

場所 ウィングス京都

内容 第一部：講演～ワーク・ライフ・バランスを経営戦略の一つに考える～

「介護離職は企業の損失！リスクマネジメントの必要性」

立命館大学産業社会学部准教授 斎藤真緒氏

第二部：情報交換会

受講対象者 中小企業経営者の方 40名(先着順)

参加費 無料

⇒ http://www.pref.kyoto.jp/wlbsuisin/topics/wlbsuisin_seminar20131122.html

・「人材戦略講演会 in 広島～多様な人材を活かしたイノベーションと価値創造に向けて～」

【主催：中国経済産業局、(株)日本政策投資銀行】

日時 平成25年11月25日(月) 13:00～16:00

場所 広島市まちづくり市民交流プラザ 北棟6F「マルチメディアスタジオ」

内容 講演「価値創造のためのダイバーシティ経営に向けて」

経済産業省経済産業政策局大臣官房審議官(雇用・人材担当) 小川 誠

講演「シナジー効果の追求～水産ベンチャーの挑戦」

(株)西日本冷食 代表取締役社長 日野美貴氏

パネルディスカッション

「多様な人材の活用による地域経済活性化を考える～ダイバーシティ経営推進～」

対象 企業関係者、主婦、OL、学生、これから起業を考える方等

定員 70名

参加費 無料

申込・問合せ先 中国経済産業局地域経済部 産業人材政策課

TEL 082-224-5683 / FAX 082-224-5765

※申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください

⇒ http://www.chugoku.meti.go.jp/event/jinzai/131017_3.pdf

・労働問題セミナー【主催：滋賀県、滋賀労働局、(公財) 21世紀職業財団関西事務所】

日時 平成25年11月25日(月) 13:30～15:50

場所 滋賀県庁東館7階大会議室

内容 講演「職場におけるパワーハラスメント防止とメンタルヘルス対策」

(公財) 21世紀職業財団 客員講師 中崎郁子氏

定員 130名(先着順)

参加費 無料

⇒ <http://www.pref.shiga.lg.jp/f/rosei/roudoumondai-seminar/20131001.html>

・ワーク・ライフ・バランスシンポジウム【主催：内閣府男女共同参画局、大阪府中小企業家同友会】

日時 平成25年11月26日(火) 13:30～18:30

場所 大江ビル13階会議室(大阪市内)

内容 第一部 講演「中小企業経営とワーク・ライフ・バランス」

(株) 東レ経営研究所

ダイバーシティ&ワーク・ライフ・バランス研究部長 渥美由喜氏 他

第二部 グループ討議

対象 中小企業経営者または人事労務等の責任者 130名程度

参加費 無料

⇒ <http://www.cao.go.jp/wlb/event/meeting.html>

・企業活性化札幌セミナー【主催：(公財) 21世紀職業財団、札幌商工会議所】

日時 平成25年11月29日(金) 13:30～15:30

場所 北海道経済センター8階 Bホール

講演 「経営戦略としての女性活躍推進とワーク・ライフ・バランス」

講師 (公財) 21世紀職業財団 会長 岩田喜美枝氏

対象 企業の経営者、人事労務担当者等 先着120名

参加費 無料

⇒ http://www.jiwe.or.jp/Portals/0/20131129hokkaido_seminar.pdf

.....

《統計・調査トピックス》

今月のテーマおよびワーク・ライフ・バランスに関連した調査についてご紹介します。

●「子ども・子育てビジョンに係る点検・評価のための指標調査」報告書【内閣府】(2013年9月)

内閣府(政策統括官(共生社会政策担当))は、平成24年度「子ども・子育てビジョンに係る点検・評価のための指標調査」報告書を公表しました。

- ・仕事と生活の調和に関しては、子どもがいる人のうち、仕事と子育ての両立ができている人は37.5%、このうち女性では、子どもの年齢が低いほど、両立できていない割合が高い。
- ・就業している人のうち、仕事時間の希望との比較で、「ちょうどよい」との回答は約半数であるが、「長すぎる」「やや長い」との回答も約4割、男女別では、男性の半数が、希望に比べると労働時間が「長すぎる」、あるいは「やや長い」と回答
- ・国に実現してほしい項目として、「若者の自立した生活と就労に向けた支援の取組」「子育てを社会全体で支える取組」が1位

等の結果が得られています。

⇒ <http://www8.cao.go.jp/shoushi/cyousa/cyousa24/shihyo/pdf/gaiyo.pdf>

●第1回「ビジネスパーソン1000人調査」【(一社)日本能率協会】(2013年7月)

(一社)日本能率協会は、全国のビジネスパーソンに対して働き方に関する意識調査を行いました。今回の調査では、

- ・30代40代の半数近くが「仕事にやりがいなし」「能力発揮できていない」
- ・女性の8割が「リーダー」より「メンバー」を志向、仕事優先スタイルは敬遠

等の結果が得られています。

⇒ http://www.jma.or.jp/news/release_detail.html?id=212

●「社員研修に関するアンケート」【(株)ディスコ】(2013年8月)

(株)ディスコでは、企業の社員研修・教育担当者を対象に、自社で実施している社員研修について、現状や課題を調査しました。新入社員を含めた若手社員への研修は手厚いが、管理者以上の研修となると、ニーズはあるものの比較的手薄であること等の結果が得られています。

⇒ <http://www.disc.co.jp/column/?p=1211>

●育児休業に関する意識調査【ライフネット生命保険（株）】（2013年8月）

ライフネット生命保険（株）は、有職者で既婚の方を対象に、育児休業に関する意識調査をモバイルリサーチで実施しました。

- ・働く男性の6割超が育休取得を望む
 - ・男性は同性の育休取得に対する理解度も低い
 - ・「女性の社会進出には男性の育休取得率向上が必要」65.8%
- 等の結果が得られています。

⇒ <http://www.lifenet-seimei.co.jp/newsrelease/2013/4940.html>

.....

●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。
このままご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/tetsuzuki.html>

バックナンバーはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府仕事と生活の調和推進室ホームページはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/>

.....

《編集後記》

食欲の秋ですね。私は週末に、親しい方々と少しリッチで美味しい朝ごはんを食べに出かけ、平日の忙しさを忘れて楽しんできました。仕事を効率的に進めつつ、休む日はしっかり休んで仕事以外の時間を充実させると、さらに仕事も捗るのではないかと思います。今、内閣府では、職場で働き方を見直して労働時間の縮減や休暇取得の促進といった成果をあげ、生活の時間を充実させたチームを募集しています。好事例は「カエルの星」として認定されますので、ぜひ皆さんご応募ください！（あ）

⇒ http://wwwa.cao.go.jp/wlb/change_jpn/kaeru_hosi.html

.....